【保存版】
No. 58
2021年(令和3年)
9月15日発行

熊　地　区
防災のお知らせ

熊地区自主防災会
事務局

『 豪雨災害、命を守る行動を!! 』

※『豪雨情報、警戒レベル』避難の決断とタイミングが重要 !!

新しい警戒レベルの一覧表　　2021.5.20　変更

情報の名称 カッコ内は変更前の名称。内閣府による		とるべき行動 命を守る行動
高い ↑ 危険度	警戒レベル5 「緊急安全確保」 (災害発生情報)	・命の危険　直ちに安全を確保 ! ・屋外に出ることが危険な状況では少しでも浸水し難い高い場所など安全な場所に移動し安全を確保。
	警戒レベル4までに必ず避難!	
	警戒レベル4 「避難指示」 (避難勧告は廃止)	・危険な場所から全員避難 ! ・指定避難所など安全な場所に避難。
↓ 低い	警戒レベル3 「高齢者等避難」 (避難準備・高齢者等避難開始)	・高齢者や障がいがある人は避難開始 ! ・指定避難所など安全な場所に避難。 ・災害リスクの高い地域の住民は避難。

※　最近の豪雨(大雨)災害

1	2012年7月	九州北部豪雨	
	一日最大降水量	493 mm	熊本県阿蘇市
	死者数	30人	福岡・熊本両県
2	2013年10月	台風26号	
	一日最大降水量	526 mm	東京都大島町
	死者数	40人	東京都など
3	2017年7月	九州北部豪雨	
	一日最大降水量	516 mm	福岡県朝倉市
	死者数	39人	福岡・大分両県
4	2018.6～7月	西日本豪雨	
	一日最大降水量	692 mm	高知県馬路村
	死者数	224人	広島・岡山両県など
5	2019年10月	台風19号	
	一日最大降水量	943 mm	神奈川県箱根町
	死者数	90人	福島・宮城両県など
6	2020年7月	7月豪雨	
	一日最大降水量	497 mm	大分県日田市
	死者数	82人	熊本県など

※　最近よく耳にする気象情報『線状降水帯』について

『線状降水帯』

予報ではなく発生情報なので、発表時には土砂災害や河川の氾濫などの危険が迫っている可能性が高い。

一刻も早く避難を決断する必要があります。

『線状降水帯』とは

次々と発生する発達した雨雲、積乱雲群によって数時間同じ場所に停滞、通過することで作り出される線状に伸びる長さ50～300km、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域。

・2017年の九州北部豪雨

・2020年の九州熊本　球磨川の氾濫を考慮して、気象庁は6月17日から短時間で集中的な豪雨をもたらす、豪雨情報を始めた。

※　気候変動等による豪雨災害は頻発、激甚化する傾向は明らかです。
私たちの地域でも必ず起きます。　その備え、避難経路は重要です。